

会議名	第3回 小金井市都市計画マスタープラン 市民説明会
日時	令和3年3月2日(火) 18:00~19:30
場所	市民会館(萌え木ホール) 会議室 (商工会館3階)
出席者	6名
配布資料	資料 小金井市都市計画マスタープラン中間報告(案)

### 1. 開会

- ・課長挨拶<省略>(事務局)

### 2. 資料説明

#### (1) 小金井市都市計画マスタープラン 中間のまとめ(案)について

- ・説明用動画上映
- ・補足説明<省略>(事務局)

### 3. 議題

#### 【市民1】

都市計画マスタープランに掲げられた細かい項目の実現はいつ頃までに行うのか。

【事務局】都市計画マスタープランは、まちづくりの基本的な方針を示すものであり、個々の具体的な施策は、各担当部局が調整しながら実施計画や事業計画として作成し、進めていくこととなる。これらの具体的な計画は、既に作成されているもの、これから検討し作成する必要があるものがあり、財源の裏付けを検討して実施計画や事業計画を作成し、議会の合意を経て、予算を付けて初めて施策を実施していくことになる。都市計画マスタープランのなかでは、具体的な施策の目標時期などまで細かい部分は設定せず、実施計画や事業計画で示していくことになる。

#### 【市民1】

例えば、市民が市のホームページで計画を閲覧する際、都市計画マスタープランのような総論の計画と具体的な各論の計画を同時に見ていかないと分からないということか。若しくは、都市計画マスタープランを見れば、双方の計画内容が分かるようになっているのか。

【事務局】資料1ページに、都市計画マスタープランの位置付けを体系図として示している。都市計画マスタープランは、各分野に関わる網羅的な計画であり、分野毎の計画を各担当部局がマスタープランとは別に作成している。これらの各担当部局で作成している分野別計画において、細かい方向性が示されているため、御興味のある分野については、市のホームページなどで検索いただくか、各担当部局の窓口にお問い合わせいただければと思う。

#### 【市民2】

説明を聞いて、本当にこんなまちが実現したら素晴らしいと思う。計画のなかで、野川の辺りに新しい道路が整備されるという話を聞いたが、資料中の何ページに記載されているのか。

【事務局】資料20ページに、道路・交通の分野別方針図を掲載しているため、御覧いただきたい。

#### 【市民2】

新しく整備される道路は図中のどれか。

【事務局】3・4・1号線と3・4・11号線の2路線あり、御質問の道路は3・4・11号線が該当する。

**【市民2】**

個人的には、小金井らしい、住みよいまちづくりに向けた取組に反しているのではないかと思います。野川公園は、小金井公園や野川公園の雰囲気とは異なり、個人的に里山のような雰囲気を感じ、小金井の特徴だと思っている。小金井をモダンにしてしまったら、他の都市との違いがなくなってしまうのではないかと。資料中の説明でもあったように、小金井のみどりをいかしたまちづくりを実現できれば素晴らしいことだと思うので、道路の方針についても、方向性が一致するような形で検討いただけるとありがたい。

**【市民3】**

まちづくりのテーマとして、つながる「人・みどり・まち」とあるように、小金井の魅力は自然豊かなことであり、これまでも大事にみどりを残してきた。国分寺崖線は貴重な自然環境として今後も市民が大事にしていき、次世代につなげていくべき貴重な財産であると思う。これは、市民だけでなく、都民や近郊の人々がここを楽しみにして来訪されるような現状もある。そのため、都が出した60年近く前の計画路線が優先整備路線3・4・1号線と3・4・11号線などとして出てきていることに対して、市としてどう受け止めるべきか考えていただきたい。また、これらの道路計画に対して市民が賛成なのか、反対なのかも含め、見直して欲しいと強く思う。今後の社会情勢を考慮すると、人口減少・少子高齢化の更なる進展により、自動車利用も減っていくものと考えられる。そのため、都から提示された計画だから進めるのではなく、今住んでいる市民の意向などを充分反映させた行政運営を進めて欲しい。市の行政職員の方々が、どのような思いなのか、多様な価値観があるため、一辺倒にはいかないと思うが、20年後の小金井市を考える上で、とても大切な部分であるため、どのようにお考えか教えていただきたい。

**【事務局】** これまでの経過についての事実関係として、優先整備路線に指定される際、パブリックコメントにて多くの反対の御意見をいただいた。その後、都市計画マスタープランの作成に入り、実施した市民アンケート調査においても反対意見が多かった。市議会においても、優先整備路線についての議題は取り上げられ、意見書なども出ている。市の方針としては、市議会などでも申し上げたように、昨年5月に市長名で小池都知事宛てに要望書を提出している。提出の際、市長から都の道路課に提出したが、私も同席させていただいた。要望書の内容は、「3・4・1号線の見直し及び3・4・11号線の整備は賛同しかねる」というものである。都市計画マスタープランを策定するにあたっては、法令を踏まえる必要がある。当該2路線については、都市計画決定がされており、都市計画法に基づいた法令として、定められているものである。この法令を無視し、要望を盛り込んだ行政計画を作成することは難しく、一定程度、法令を踏まえた事実を記載する必要がある。今回の計画では、資料19ページ(2)幹線道路整備方針として、3つの文章で都市計画道路整備の考え方を示しており、これは、都市計画法だけでなく、上位計画である都の区域マスタープランとの整合も一定程度図っている。ただ、先ほど述べたように、要望書として提出した市としての方針も含ませた表現の仕方が必要となる。そのため、3つ目の文章のように「なお、社会経済情勢及び地域のまちづくりの変化などを踏まえ、必要に応じて今後の方針を検討します。」という一文を記載することで、市としての方針を表現し、これは、市議会においても同様の説明をさせていただいた。

**【市民4】**

法令というものは、市民や都民のものであるため、そぐわないものは、市民や都民の意見を優先して欲しいと思う。法令ありきではなく、20年後も私達の子どもや子孫が、今と同じ楽しみを繰り返してもらうため、誰も取り戻せない自然を壊してはいけないと思う。国分寺崖線の保全や生物多様性、みどりの保全など、自然と共生するという方針が掲げられている一方で、その国分寺崖線などの自然を壊す道路は絶対に整備してほしくないと思う。

**【市民5】**

私は都市計画マスタープランの策定委員を12月まで勤めていた。策定委員会では、学識者、各団体の代表、市民の代表で構成されている。担当部局からの説明を受けて、その後意見を言うような一方通行のやり方で、委員同士の意見のやり取りというものがない。また、この市民説明会も参加者が少なく、どれだけの方がこの計画を認知しているのか疑問である。このような会議のあり方や広報の仕方など、本当に市民参加と言えるのか、もう少し工夫していただきたい。法令という話があったが、法令自体が怪しいと思う。これだけ多くの方が関心を寄せて、多くの反対意見があるというのに、優先整備路線2路線は、実質的に整備に向けて進んでおり、環境調査も始まっている。来年度以降事業認可に進むことが既に見えている。また、資料19ページの3つ目の文書も非常に曖昧で、無責任な記述だと思う。多様な市民意見があるなかで、反対意見が多く、意見を踏まえた方針を明記してほしい。

#### 【市民6】

法令は、市民が生活するためのルールだと思う。最初から法令ありきで進めるという話は少し違うのではないか。これだけ反対する市民が大きい声を上げているのに、広報関係で公開されない。行政という立場で、地域住民や市民を優先して考えていただきたい。

【事務局】多くの反対の意見をいただく一方で、例えば、二枚橋の坂（はけの道）の沿道住民からは、交通量が増えて、事故も多くなってきているため、道路の整備が必要だという声も一方でいただいている。市民の方々からの様々な御意見や現在の法令など、色々な事情を考慮し、目配りしながら、都市計画道路全体に対する具体的な表現を検討し、お示ししたのが今回の案となっている。また、市民参加については、策定委員会だけでなく、無作為抽出した市民3,000人を対象にした市民アンケート調査、市民協議会、優先整備路線2路線を対象にした3,000人アンケート調査なども実施してきた。これらの会議や調査による御意見を事務局でまとめ、今回の資料内に盛り込んでいる。策定委員会においても、得られた御意見は結果として情報提供した上で協議いただいております、市のホームページ上でも会議結果や調査結果を開示している。ただ、計画のまとめ方は、市の考え方によるまとめ方になっているため、不明点など御質問いただければ、きちんと説明させていただきたいと考えている。

#### 【市民7】

優先整備路線2路線を対象に実施した3,000人アンケート調査について、都市計画道路の整備に賛成されている方もいると思う。調査結果として、この2路線の整備に賛成・反対の割合はどのくらいなのか教えていただきたい。

【事務局】詳細は、市のホームページにて調査結果を開示しているため、御覧いただきたい。都市計画道路整備に賛成・反対の割合は、おおよそ賛成4：反対6の割合であった。

#### 【市民8】

都市計画マスタープランは、20年後を目指しているが、既に少子高齢化が進んで、将来的には更に進展していくなか、車社会ではなくなり、道路が必要になるかどうか分からない。新型コロナウイルス感染症による大変な世の中で、道路を整備するために莫大なお金が掛かるわけで、もう少しお金の有効的な使い方を考えてほしいと思う。

#### 【市民6】

是非とも都知事に、小金井のみどり、武蔵野公園や野川公園を現地見学に来ていただき、道路整備について再考してほしいと思う。

以上